

身体障害者診断書・意見書（ 心臓機能障害用 ）

総括表

氏 名	明治・大正 昭和・平成 年 月 日生（ 歳） 令和	男・女
住 所		
① 障害名（部位を明記）		
原因となった	交通, 労災, その他の事故, 戦傷, 戦災	
② 疾病・外傷名	疾病, 先天性, 自然災害, その他（ ）	
③ 疾病・外傷発生年月日	昭和 年 月 日・場所 平成 年 月 日・場所 令和	
④ 参考となる経過・現症（エックス線写真及び検査所見を含む。）		
障害固定又は障害確定（推定）昭和・平成・令和 年 月 日		
⑤ 総合所見	[将来再認定 要 ・ 不要] (再認定の時期 年 月)	
⑥ その他参考となる合併症状		
上記のとおり診断する。併せて以下の意見を付す。 令和 年 月 日 病院又は診療所の名称 所 在 地 診 療 担 当 科 名 科 医師氏名		
身体障害者福祉法第15条第3項の意見 [障害程度等級についても参考意見を記入] 障害の程度は、身体障害者福祉法別表に掲げる障害に ・ 該当する (級相当) ・ 該当しない		
注意 1 障害名には現在起っている障害、例えば両眼視力障害、両耳ろう、右上下肢麻痺、心臓機能障害等を記入し、原因となった疾病には、緑内障、先天性難聴、脳卒中、僧帽弁膜狭窄等原因となった疾患名を記入してください。 2 歯科矯正治療等の適応の判断を要する症例については、「歯科医師による診断書・意見書」(別様式)を添付してください。 3 障害区分や等級決定のため、地方社会福祉審議会から改めて次頁以降の部分についてお問い合わせする場合があります。 4 診断書・意見書に記入した内容に修正がある場合は、二重線で取り消し、その上部等に正しい文言を記入してください。(訂正印は必要ありません。) 5 医師氏名は記名又は署名のどちらでもかまいません。また、医師の押印は必要ありません。		

心臓の機能障害の状況及び所見（18歳未満用）

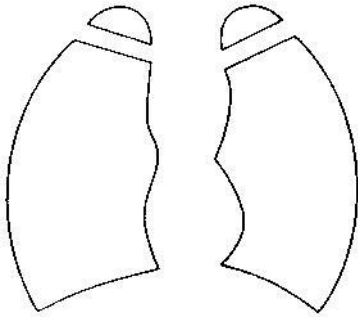
（該当するものを○でかこむこと）

1 臨床所見

- ア 著しい発育障害（有・無） オ チアノーゼ（有・無）
イ 心音・心雑音の異常（有・無） カ 肝腫大（有・無）
ウ 多呼吸又は呼吸困難（有・無） キ 浮腫（有・無）
エ 運動制限（有・無）

2 検査所見

（1）胸部エックス線所見（ 年 月 年）



心胸比

- ア 心胸比 0.56 以上（有・無）
イ 肺血流量増又は減（有・無）
ウ 肺静脈うっ血像（有・無）

（2）心電図所見

- ア 心室負荷像〔有（右室，左室，両室）・無〕
イ 心房負荷像〔有（右房，左房，両房）・無〕
ウ 病的な不整脈〔種類 〕（有・無）
エ 心筋障害像〔所見 〕（有・無）

（3）心エコー図、冠動脈造影所見（ 年 月 年）

- ア 冠動脈の狭窄又は閉塞（有・無）
イ 冠動脈瘤又は拡張（有・無）
ウ その他

3 養護の区分

- | | |
|-----------------|--|
| （1） 6か月～1年毎の観察 | （4） 継続的医療 |
| （2） 1か月～3か月毎の観察 | （5） 重い心不全、低酸素血症、アダムスストークス発作又は狭心症発作で継続的医療を要するもの |
| （3） 症状に応じて医療 | |